

彩前線

秋の色彩が降り注ぐよう
だ。日ごとに赤さが深まる
モミジ。夕日に映え、華や
かさを増していく。

六甲山地・再度山のふも
と、標高約400以上に位置
する再度公園（神戸市北区
山田町）。市森林整備事務
所によると、今年は例年よ
り早く色つき始め、17日に

秋の日差しを浴び
て彩り増すモミジ
＝再度公園

神戸・再度山

は盛りを迎えた。今週末々
らいまでが見ごろという。
同公園は修法ヶ原池を中
心に整備され、近くの神戸
外国人墓地とともに、国名
勝に指定されている。森を
歩けば輝く紅葉が美しく、
池周辺では、水面に溶け込
むような色彩に引き込まれ
る。

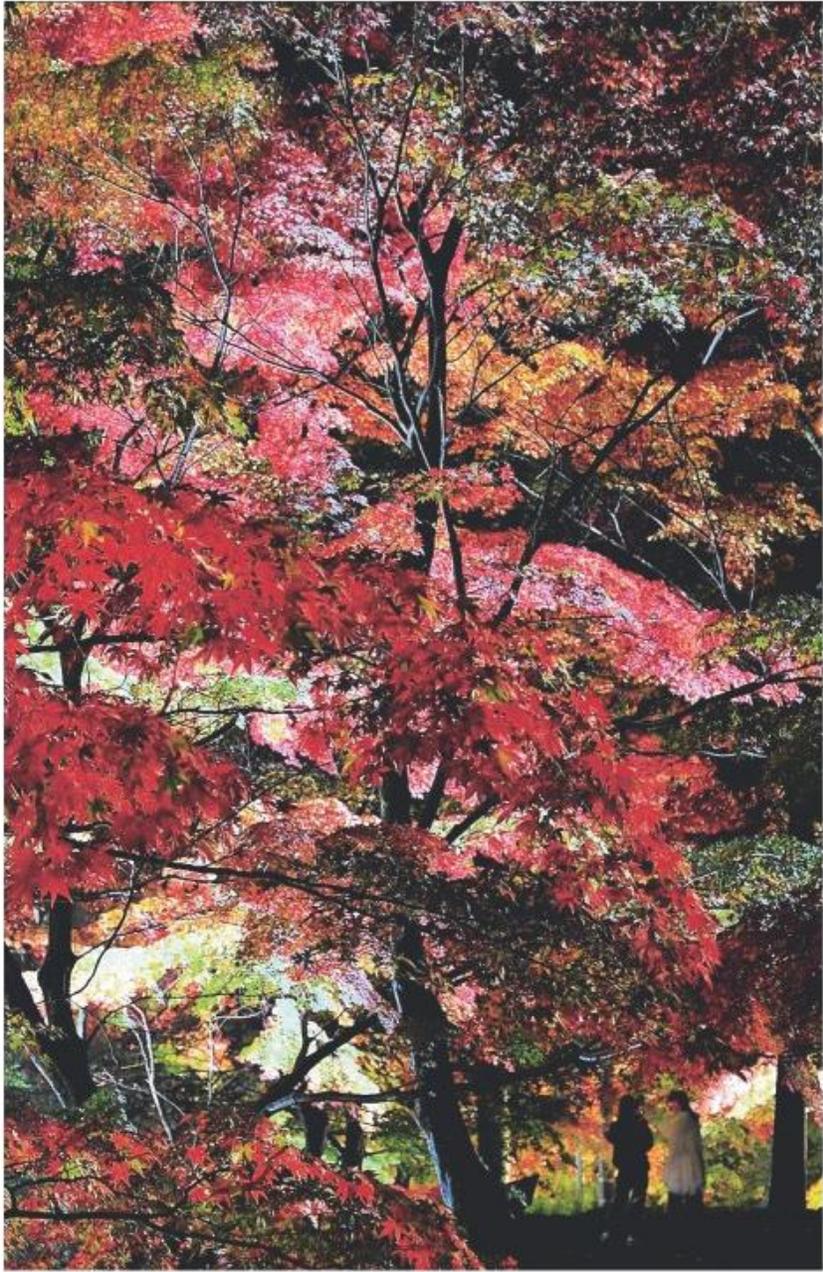
夫妻で訪れた枝重達也さ
ん(48)＝同市灘区＝は、時
間がたつのを忘れるくら
い、心落ち着きますね」と話
していた。市森林整備事務
所 ☎078・371・593
7(平日のみ) (鈴木雅之)



県内各地で、もみじが見頃を迎えています。
3つの記事にメインの見出しをそれぞれ8
~10文字くらいで付けてみましょう

なまえ【 】

NI Eワークシート／中学校～高校・国語



ライトアップされ、色とりどりに浮かび上がったもみじ山
＝宍粟市山崎町元山崎

午後5時過ぎ、あっという間に西の空へ沈んだ夕日の赤い光と入れ替わるように、宍粟市山崎町元山崎の最上山公園は白い光に照らし出された。この地に紅葉シーズンを告げる「最上山もみじ祭り」で27日まで、通称もみじ山をライトアップしている。

彩前線

南北朝時代に標高324メートルの山頂に築かれ、後に黒田官兵衛が居城にしたとも伝えられる篠ノ丸城跡。古くから紅葉の名所として親しまれ、現在は地域住民らが植樹したモミジやカエデ約3千本が赤にオレンジに色づいている。

南北朝時代に標高324メートルの城下町としてにぎわった山頂に築かれ、後に黒田官兵衛が居城にしたとも伝えられる篠ノ丸城跡。古くから紅葉の名所として親しまれ、現在は地域住民らが植樹したモミジやカエデ約3千本が赤にオレンジに色づいている。

て城下町としてにぎわったであろう酒蔵通りや商店街をそぞろ歩きし、3年ぶりに暗闇に浮かび上がった幻想的光景を見上げて楽しんでい

ライトアップは午後9時まで。しそ森林王国観光協会 ☎0790・64・0923

(大山伸一郎)

宍粟・最上山公園



彩前線

姫路・円教寺

秋晴れの午後、姫路市郊外にある「西の比叡山」は、透き通る日差しを浴びて輝きを増していた。

書写山円教寺。なだらかな山上に寺院が点在する古刹は、モミジやイチヨウが赤や黄色に色づき、参拝客を華やかにもてなす季節を迎えている。

標高371メートルの峰に966年、性空上人が開いた天台宗別格本山は、映画やドラマのロケ地としても高い人気を誇ってきた。コロナ禍前は姫路城と同じく外国人観光客が多く訪れていたが、今秋は国内客を中心ににぎわいが戻りつつある。

大講堂や食堂、常行堂の「三之堂」の周囲ではモミジが赤く染まり、舞台造りの摩尼殿周辺は冷え込みとともに、錦秋の彩りが一層濃く刻まれる。

入山料500円（高校生以下無料）。同寺 ☎079・266・3327
（大山伸一郎）

晩秋の彩りに華やく書写山円教寺
＝姫路市書写

22日付「山上のもてなし華やか 姫路・円教寺」の記事で、「入山料500円（高校生以下無料）」とあるのは誤りで、「中学生以上500円、小学生300円」でした。

神戸新聞 2022年11月23日 水曜日 面名 朝二社